

# ひまわり 議会だより

NO.53  
2023.4.17

発行編集：日之影町議会報編集委員会

## 【下顔上線現地調査】

【町道認定 2路線】〈下顔上線・一の水西線〉

読みやすくリニューアル

議案紹介・P3 令和5年度予算・P4 総括質疑・P5～7  
一般質問・P9・P10 アンケート結果報告・P10・11

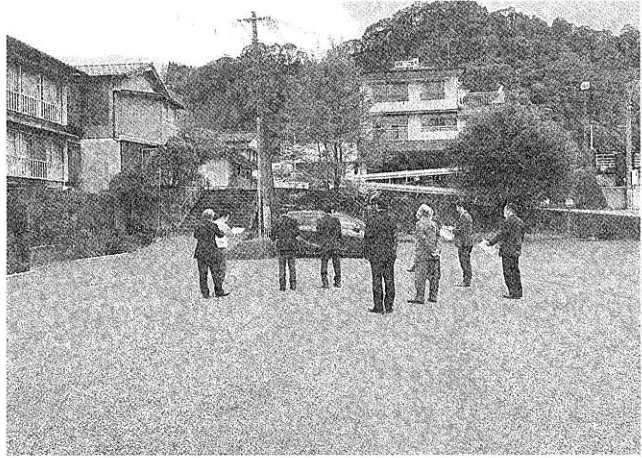
# 議員賛否の結果

# 注目予算

	高 館	甲 (徳)斐	河 野	一 水	甲 (睦)斐	小 川	小 谷	久 保
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
○	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	×	○	○	○	○	○	×
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○
○	—	○	○	○	○	○	○	○
	—	○	○	○	○	○	○	○

## 1、役場跡地活用事業等

**3億1千589万円**



## 2、学習環境改善・修繕事業 (中学校エレベーター設置等)

**1億2千949万円**



## 3、過年度災害復旧事業 (農林水産施設、土木施設)

**17億3千554万円**



可否判断は各議員の説明責任に直結する町民全てが知るべきもの。  
今回の広報から議員の可否判断を掲載する事にした。なお討論も端的に掲載するのでご一考頂きたい。

# 令和5年 注目議案

議案番号	件名	概要
同意 第1号	教育委員会委員の任命について	委員として木下供美氏 <small>きのしたともみ</small> を選任
同意 第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	委員として平田武利氏 <small>ひらたけとし</small> を選任
議案 第10号	日之影町公の施設に係る指定管理者の指定について（鹿川地区交流センター）	鹿川地区交流センターの指定管理者を鹿川地区活性化協議会を選定
議案 第11号	日之影町道路線の認定について（下顔上線）	町道下顔中川線交差部から民家までの延長230mを町道に認定する
議案 第12号	日之影町道路線の認定について（一の水西線）	町道一の水上線交差部から民家入口までの延長130mを町道に認定する
議案 第13号	工事請負変更契約の締結について	林道災害復旧事業二子山西線の工事請負金額が17,237,710円増加し、98,950,690円となる。
議案 第14号	令和5年度日之影町一般会計予算	施政方針に基づく令和5年度予算審査特別委員会を設置し、各課ごとに予算の積み上げや事業概要の説明を求め質疑を行う。 (P5～P7参照)
議案 第22号	令和4年度日之影町一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出をそれぞれ236,843千円減額し、歳入歳出の総額を6,604,157千円とするもの
議案 第23号	令和4年度日之影町国民健康保険病院事業会計補正予算(第5号)	医業収益を52,043千円減額、医業外収益として、一般会計補助金等で35,490千円追加するもの
議案 第24号	令和4年度日之影町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ5,226千円減額し、歳入歳出の総額を750,997千円とするもの
議案 第25号	令和4年度日之影町介護保険特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ8,471千円減額し、歳入歳出の総額を701,579千円とするもの
議案 第26号	工事請負契約の締結について	鶴の平乙女線道路災害復旧工事 (木田建設に決定)

## 〈反対討論〉

全ての予算に反対するものでなく中央地区の活性化の為の予算について反対です。

審議時間が短く「行政のチェック機能」が果たされていないその一点です。この案件が町民全体にとって有益な物が判断できない。その一言に尽きます。判断が出来なければ説明も出来ません。

今回の予算に対して議員として否決ありきではなく、可能な限り真摯に向き合ってみたくてありますが、限られた時間の中でさまざまな方々に意見を伺い相談したうえで、自分自身の責任で否決という判断を下しました。

# 令和5年度主な事業費

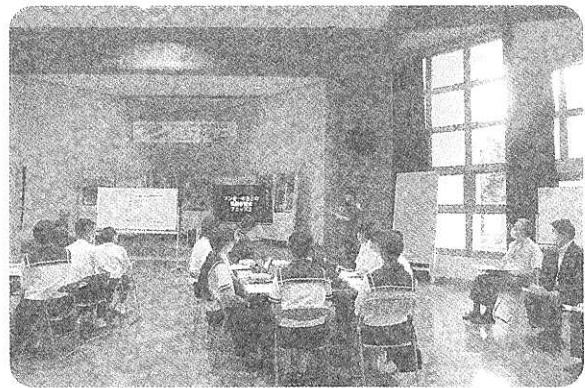
歳入・歳出予算合計 67億1千円



災害復旧費  
17億5千694万円



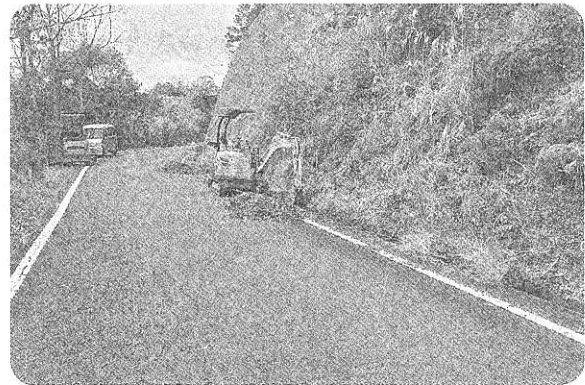
農林水産業費  
6億5千426万円



教育費  
4億3千808万円



衛生費  
3億9千600万円



土木費  
3億1千479万円

# 令和4年度一般会計最終補正予算

総額 66億415万7千円

【議会費】(費用弁償等) . . . . . 832千円減	【総務費】(旧庁舎解体工事請負費等) 40,297千円減
【民生費】(国保特別会計繰出金等) 12,968千円減	【衛生費】(病院事業会計繰出金等) 17,313千円増
【農林水産業費】(補助金等) . . . . . 19,100千円減	【商工費】(補助金等) . . . . . 345千円減
【土木費】(補助金等) . . . . . 319千円増	【消防費】(費用弁償等) . . . . . 3,964千円減
【教育費】(報酬等) . . . . . 10,380千円減	【災害復旧費】(工事請負費等) . 177,300千円減
【諸支出金】(ふるさと応援基金費) 23,000千円増	【予備費】 . . . . . 12,289千円減

# 総括質疑

## ■総務文教常任委員会

### 行財政運営は

【問】各種政策による10年後の「持続可能な日之影づくり」の取り組みと財政シミュレーションは

【町長】財政シミュレーションについては、有利な起債の運用、財源を活用することで、実質公債費比率は令和13年度で13・6%の見込み。健全化判断比率範囲内である。

日之影町地域創生総合戦略及び長期総合計画を作成し、事業を選別していく。

### 子ども、子育て支援は

【問】町単独での「ひのかげベビー応援金」は

【町長】現在交付している妊婦健診通院のための1万5千円の交通費と、宿泊費等として、1万5千円増の3万円を交付する。

【問】「子ども家庭センター」の令和6年度設置に向けての施策は

【町長】子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の機能を

合わせた母子保健と児童福祉の一体的な支援として、妊娠期から子育てめ令和6年度町民福祉課へ設置する。また、提案のあった結婚祝い金についても検討していく。

### スポーツ振興は

【問】交流事業等への参加しやすい環境整備は

【教育長】コロナ禍で各種スポーツ大会が縮小していたが、今後は多くの人に参加しやすいよう、バレー大会においては参加資格の見直し、駅伝大会は合同チームや高校生の参加や用具の貸し出しなどを検討していきたい。

【問】第81回国民スポーツ大会の開催に向けた取り組みは

【教育長】令和9年9月～10月にかけて開催される国民スポーツ大会で、当町は「なぎなた」の競技会場となっている。参加予定人数は、約500人で、競技運営、弁当、宿泊など準備委員会を設置し対応を検討していく。

### 人材育成は

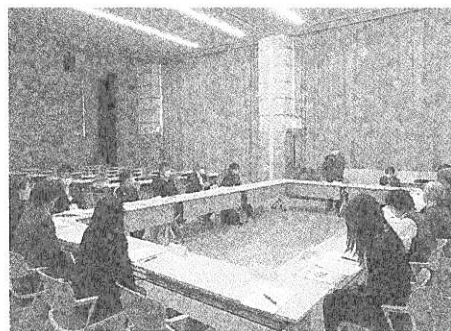
【問】グローバルな視野に立った交流派遣などの人材育成を図る取り組みは

【教育長】ALT2名を小中学校で活用し、保育園との交流もあり、環境は大変恵まれている。また、宮崎大学院の留学生8名を招き、中学生との交流を実施し、生徒達が英語で話す姿は、英会話能力が上がってきていると実感している。

### 地方創生の推進は

【問】ゼロカーボン社会が本町にもたらす効果と新たな施策は

【町長】当町では、中山間地域の特性を生かし3水力発電所稼働、山林の



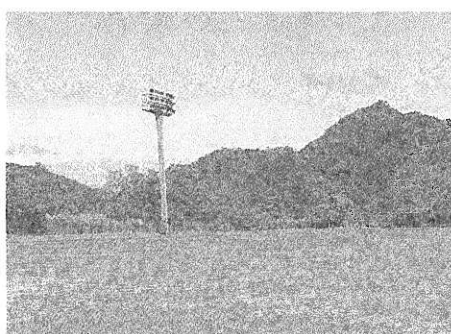
【子ども子育て会議】

保護等に取り組んでいる。今後は、ゼロカーボン社会づくりのため、実行計画の策定をし、公共施設（ナイター設備、体育館の照明等）のLED化や太陽光発電の設置など、脱炭素推進事業債を活用し取り組んで行く。

【問】住民サービスの向上や行政の効率化に向けたDX推進計画の策定は

【町長】本庁にデジタル対策推進室を設置し、マイナンバー、高齢者見守り、買い物支援、公共交通等、また、光ケーブルの各家庭への引き込み対策、タブレットの貸与など住民サービスの向上や、行政の効率化に向けての計画、策定を行っていく。

※ゼロカーボン・・・二酸化炭素を減らす取り組み



【癒しの森：ナイター】

# 総 括 質 疑

## ■ 経済建設常任委員会

### 農林業の振興は

【問】農林業の対策として、安心して生産活動に取り組む支援は

【町長】町独自の緊急雇用対策や国・県に合わせて春肥の高騰分の支援を繰越事業として取り扱う予定。今後市場の動向に注視し、生産組織及び国、県などとの関係機関と情報共有しながら必要に応じた支援対策を講じていく。

【問】就農初期の収支不安定期の財政支援は

【町長】新規就農者総合対策支援事業を活用し新たな新規就農者の確保支援に引き続き努めていく。国の要件に該当しない希望者に対し、「日之影就農奨励金交付事業」を活用し新規就農者を幅広くカバーし、UIJターン者、町内に定着するかたを呼び込み、参入促進を図る。

【問】荒廃地の抑制や施設の維持管理等の軽減。その為の各事業の事例とプロセスは

【町長】引き続き日之影アグリファームを核として農地の保全を図る。農業委員会と連携した農地パトロール等を通じて今後も農地の荒廃化の抑制に努めていきたい。

【問】循環型林業の構築、本町林業の活性化に向けて林政審議会委員としての取り組みは

【町長】町内は9割が山である。森林資源をどのように生かし循環型林業をどのように構築してゆくかが鍵である。その中で経済成長、雇用、若い人が働く場として活用できるのが本町の活性化の大きな柱として認識している。森林環境譲与税という新たな税も活用して林業の先進地を作っていく。

### 観光の振興は

【問】森林セラピー、世界農業遺産ユネスコパーク等を連携したプロセスは

【町長】新たな関係人口創出と企業とマッチングを行い、旅行者との共同事業を行った。キャンプ村で検証を行い、森林セラピーを体験頂き、

今後はワーキングブースの設立検討や豊富な観光資源を生かし関係人や移住の促進に繋げて行きたい。

### 公共交通体系の確立は

【問】将来的公共交通体系の確立

【町長】令和4年度に地域交通会議を設立し、議論をしている。現在公民館長の皆様に計画書を送付し、意見を集めている。5年度に公共地域交通の実施計画を作成する。



【すまいるバス】

### 人口減少対策及び移住の推進は

【問】定住の為に住宅の整備が喫緊の課題。住宅の建設改修の計画は

【町長】移住定住は本町が取り組むべき重点政策。令和2年度から関係課での住宅政策の推進に向けた検討を継続。多様なライフスタイルやニーズに対応した住宅政策を計画し人口減少対策室を通じ全課横断的な形で方向性を出してゆく。

【問】移住の促進には日之影町をPRするという情報発信が不可欠。更なる情報発信の強化は

【町長】町ホームページ、各種イベントやセミナー、物産展、交流会、ふるさと納税を通じた情報発信を行っている。更に発信の強化のため地域おこし協力隊を採用している。おかげさまで日之影ライフの情報更新やイベント、観光情報、日之影町の話題などをSNSを活用し情報発信を行っている。

# 特別委員会総括質疑

## 消防団員の確保は

【問】消防団活動等については、操法大会等に力点を置くことも必要だと思いが、今後の消防操法のあり方は

【町長】議会と消防団幹部、本部で意見交換、アンケート調査も大事にするべきだと思う。機能別消防団員制度の創設もあり、旧態依然で行ってゆくという時代ではないのは十分認識している



【放水の様子】

## 結婚祝い金制度の創設は

【問】少子化、人口減少対策として町外から結婚による移住奨励金、及び結婚祝い金制度を再度創設しては

【町長】令和五年度は人口減少対策推進部署を設置する。その中で出産、子育て、教育を含めた支援制度を見直し政策を構築したい。

## 中央地区活性化は

【問】中央地区活性化に伴う予算執行は協議する時間が不足し、時期尚早感はない。減額が必要では

【町長】議会には説明不足があった。庁舎移転で中央地区の空洞化が懸念されるので「中央地区活性化協議会」を立ち上げ検討してきた中で、過疎対策事業（交付税7割措置）という有利な起債が選択され、庁舎解体分の財政負担が軽減されるという試算も出た。5月8日の申請に間に合うようご理解いただきたい。あくまで予算は概算で在り、今後は議会と協議のうえ予算を執行する。

## 带状疱疹ワクチンの接種事業は

【問】带状疱疹の罹患によるリスクの懸念があがっている。ワクチン接種の助成金を組み、町民の安心・安全を守る必要があるのでは

【町長】带状疱疹ワクチン接種に対する補助金の要望が、関連団体から提出されている。今後動きを見ながら他の自治体の実施状況を踏まえ検討してゆく。

## 予算審査特別委員会

### 委員長報告

委員長 河野 學

予算審査では、山積する課題と多様なニーズに対応するための多種多様な予算編成には一定の評価をするものである。

他方、庁舎移転に伴う中央地区活性化対策等については、協議会との意見を集約しつつ有利な起債を活用する事業展開が示されたものの内容が明確とは言えず本定例会では慎重審議する時間の余裕も無かった事が残念と言わざるを得ない。

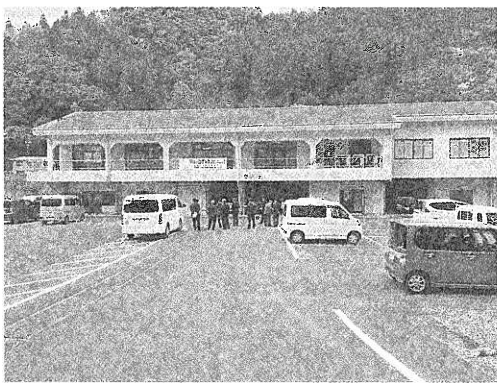
執行権、議決権と組織の立ち位置は違うが目指す物は同じで有ることは言うまでも無く常にコンセンサスが必要である。

新型コロナウイルス感染症や不安定な国際情勢の影響による燃油や飼料等の急激なコスト上昇、昨年の台風14号による生活道路の決壊や農地災害がある中、町民の苦しみを理解し、予算計上の説明責任と事業の投資効果等を十分に勘案するとともに、予算執行にあたっては議会の提言、提案をしつかり受け止め検証しながら慎重な執行が必要である。

中央地区活性化対策予算に付いては身の丈にあうメンテナンス等を抑えた必要最小限の選択を進め、減額修正に努力することを望むものである。

予算委員会は最終日に自然消滅となるが議決の責任を重く受け止め、議会としても中央地区活性化特別委員会を設置し共に事業の検証と効果を考える事が必要との結論に至った。以上令和5年度一般会計及び特別会計予算の8議案については上記の意見を付して本会議において可決するものと決定した。

予算審査特別委員会では、賛成4、反対3となりました。



【リニューアル予定の研修館】

# 所管事務調査報告

## ■総務文教常任委員会

【期 日】 令和5年2月8日(水)

【場 所】 庁舎委員会室

【調査目的】 伝統芸能の継承について

【調査事項】 各保存団体の活動内容について

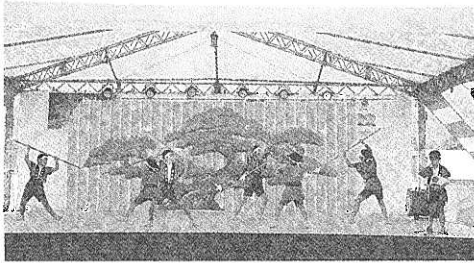
伝統芸能サークルの継承に向けての直近の課題は、いずれの団体にも共通する少子・高齢化、指導者不足、コロナ感染症にかかる地域コミュニティ活動の縮小等があげられる。

さらには、事業継承に対する町からの支援、世界農業遺産支援・コロナ対応地方創生臨時交付金等の支援を受けているが、使途に制限があり備品調達に苦慮している。特に伝統芸能に用いる用具に関しては高価な物が多く、計画的に調達をしている。それぞれの団体には特殊な用具が必要であることから、コロナ交付金等も有効活用をすべきである。

児童・生徒の指導には学校との連携が欠かせないが、先生方への理解を受けながら上級生から下級生へ受け継がれ、子どもサークル活動にも繋がっていると感じた。

神楽、神歌集のデジタル化、データ化まで行い、町内外、どこでも古

里の神楽、歌舞伎他が見られるようにシステム作りを行う事で、地域コミュニティの核になってくると思われる。さらには、他団体との交流、視察、町人会で発表の場を設ける等、アフターコロナ後に期待が持てる。町としても補助金を出して終わりではなく、世界農業遺産存続の中でも伝統芸能の継承の大事さ、大切さを公民館長会等で伝えながら活動に寄り添い、親しむ社会づくりの推進に取り組むことが肝要である。今後は伝統芸能の保存、継承は、地域コミュニティ活動や集落の活性化に多大な影響を及ぼすことから、さらに支援拡充が必要になる。



【伝統芸能発表大会（古園棒術）】

## ■経済建設常任委員会

【期 日】 令和5年2月8日(水)

【場 所】 役場町民ホール

【調査目的】 農林業の振興について

【調査事項】 ①入会林野整備事業の取り組み

②森林環境税の活用について

### ① 入会林野整備事業

この事業は、入会権を消滅し、近代的な所有権等に変更することにより、整備後の土地の活用を促進することを目的とする事業である。共有林等の山林が集落に多くあり、社会情勢や高齢化で所有者不明や登記等が困難な状況と思われる。

県が登記を行い、税制面や事業実施にはコンサルタントの助言が受けられるなど、他にも多くの利点があるが、必要と思われる森林所有者には浸透していない。

今後は、この制度の利点や優遇措置を町の広報等で周知することが必要である。

### ② 森林環境譲与税の活用

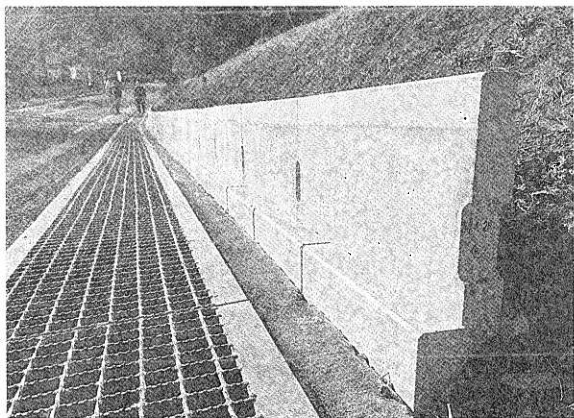
森林資源の持つ多面的機能が具現化し、目に見えない恩恵が数値化された事は地方にとって追い風である。令和元年度から交付され、現在18の事業に配分され事業展開している。

自主財源の脆弱な本町には貴重な財源である。

令和6年では6千万を越す交付額が予定されており、今後、用途の目的等については、町民への活用策を公募し、目的に沿った事業実施を展開し、町民の意識の高揚、行政負担の軽減、そして何より、町民参加意欲に繋がることも期待出来る。

「森林資源の恩恵は山に返す」をコンセプトとして、災害に強い山づくり日之影モデルの実現に向けて官民一体の取り組みが必要である。

日之影町の森は皆で育てていきたいと思います。



【森林環境譲与税を活用した小落石防止HMブロック】



### 高千穂ひのかげ栗のブランドを守る方針と計画は

町長

農林振興課やひのかげアグリファームと

連携し就農対策を進めていきたい。



久保 優一 議員

**問** 先人たちが築き上げてきた高千穂ひのかげ栗のブランドをしっかりと守っていく方針と計画はあるのか

**町長** 以前からの支援は作業道や機械、収穫ネットの整備、新植や改植など基盤整備を行い、省力化への取り組みについては受託組合にて剪定、残幹、防除を実施している、更に令和4年3月に郡内の関係機関で作成した栗10ヶ年計画に沿って生産維持拡大に努めている所である。



【栗園】

町長

**問** 新規就農者の確保についてはどうか

**町長** 移住・定住、新規就農で日之影に呼ぶために、日之影で出来ることをPRする事は大事であるが、ある程度形が出来あがるまで、検証を踏まえながら進めていく。

### コロナウイルス感染症の今後の対応は

町長

国の方針に従い、関係機関と連携して進めていく



久 輝川 議員

**問** 5類移行後の本町の医療体制を含めた対応策は

**町長** 本町のワクチン接種率は県内でも高いと思われる。医療体制は感染症法の規定の変更となるので、従来のインフルエンザ同様、日之影町国保病院での入院・外来での対応が可能となり、個々の患者者に一番利益となるよう対応を取っていく。コロナ5類移行後は地域経済回復が最も望まれる所であり、本町の基幹産業である農林・商工業の支援については、JAをはじめ関係機関との連携を密にし、従来の支援策も含めた対応を取っていく。

**問** コロナ禍により地域コミュニティ活動の衰退が見られる中、本町伝統芸能の事業継承の支援対応策は

**教育長** コロナ感染症が猛威を振るう状況が3年続き伝統芸能のみならず、地域コミュニティ活動の衰退も危惧されている。本町の伝統芸能保存会は、県指定民俗無形文化財である大人歌舞伎、深角団七踊り、日之影神楽を始め、古園棒術・松の木地区田植え踊り・追川団七踊りが保存継承に取り組んでおられる。本年度も支援策を実施し、完全な形態ではないが、神楽まつりの実施など一定の効果はあった。今後も伝統芸能活動と公民館を始めとする地域コミュニティ活動の関係性、重要性を鑑み各伝統芸能の魅力を内外に発信し、事業継承と後継者の育成に取り組んで行く



HINOKAGE CHIKAI DAIORI

集落道の維持・管理対応策は

集落の状況を把握し支援の在り方を検討する

町長



水 輝 明  
議 員

**問** 高齢化の進む中、農村の景観や集落道の維持・管理は当面の課題である。将来を見据えた基本的な対応策は

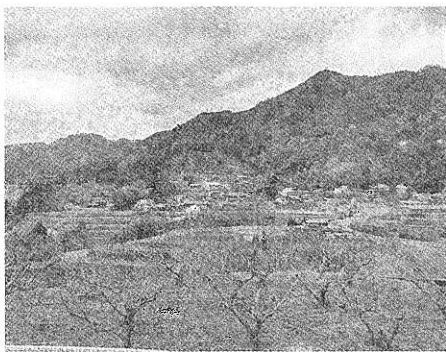
**町長** これまで各集落において、私たちの住む地域は自分たちで維持・管理すると言う「自助・共助の精神」の基、住民の皆様の共同により維持・管理をしていただいている。しかし、近年の少子高齢化に伴い維持・管理に支障が生じている集落があることは認識している。これまで、タイヤショベル等の機械の提供や公民館への商品券の配布、水源の里支援隊による整備を行ってきた。今後、集落の状況などを把握し検討していく。

**問** ペット社会を迎え、ペットを通じての人との交流の場としてドッグラン等の検討は

**問** 学校教育の視点から見る動物飼育の係わりと指導について

**町長** 生命を尊重することや動物を愛護することは、小・中学校学習指導要領に位置付けられている。今後、生き物の命を慈しむ心、豊かな心を育む取り組みを推進していく。

**町長** 全国的にペット社会が広がる中、心の安らぎや孤独を癒やす存在をペットに求める方が増えるなど、社会においてペットの存在が大きくなっている。現時点でのドッグラン等の設置は考えていないが、今後、要望や課題・効果等を考慮し対応していく。

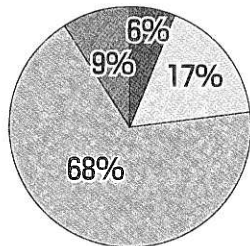


【農村の風景】

議会傍聴、町内自主放送及びネット配信についてアンケート結果（回収率43%）

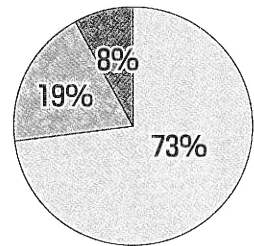
■議会を傍聴したことがある（65人）

- 〔毎回4人 6%〕
- 〔時々11人 17%〕
- 〔関心がある44人 68%〕
- 〔無記入6人 9%〕



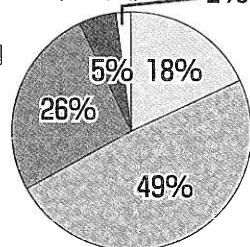
■視聴しやすさ

- 〔自主放送443人 73%〕
- 〔ネット配信113人 19%〕
- 〔無記入52人 8%〕



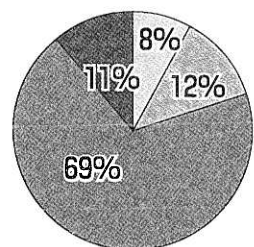
■議会を傍聴したことがない（528人）

- 〔関心がない93人 18%〕
- 〔時間がない260人 49%〕
- 〔行きたいけど行けない139人 26%〕
- 〔その他24人 5%〕
- 〔無記入12人 2%〕



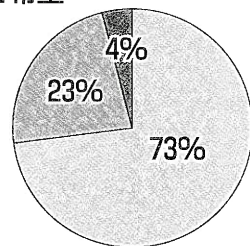
■視聴しやすい時間帯は

- 〔昼48人 8%〕
- 〔夕方73人 12%〕
- 〔夜432人 69%〕
- 〔無記入67人 11%〕



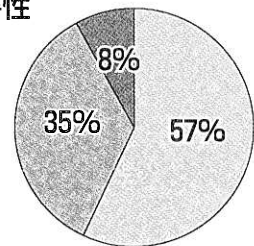
■自主放送・ネット配信を希望

- 〔はい436人 73%〕
- 〔いいえ141人 23%〕
- 〔無記入12人 4%〕



■用語の解説、文字の必要性

- 〔必要341人 57%〕
- 〔不要210人 35%〕
- 〔無記入67人 8%〕



# アンケートの結果

たくさんの貴重なご意見非常にうれしく思います。全議員で読ませていただきました。全て掲載したいところですが、この度は議会の傍聴に関してだけ掲載させていただきます。

**Q** 議会からの提案なのか？ 町民からの要望か？

**A** どちらもあります。この度のアンケートはコロナ禍で開いた町民の皆様との距離を縮める意図もありました。また集計においては事務局で行っていただいたので匿名性については担保されております。

**Q** 自主放送で流してくれたらよいのにと考えていました。（質問内容や態度などあまり良い話を聞かないので）

**A** ぜひ期待ください。

**Q** 自主放送での配信、大賛成です！時間、私用などでなかなか傍聴が難しいので、自主放送で配信されるとゆっくり見られます。

**A** 有難うございます。多忙の中でも視聴できるよう工夫してまいります。

**Q** 少しでも議会に興味を持ってもらって候補者を増やすためにもぜひ配信が必要である。

**A** どちらについても努力してまいります。議会活性化の為には候補者が増えることを望みます。

**Q** 配信、放送とも必要ない。予算を他にまわすべき！

**A** 庁舎内に既に録画設備があるので12チャンネルの放送については予算はあまりかかりません。ご安心ください。

**Q** いつもの議会運営が見たい、質問等を加工せずそのまま配信してほしい。

**A** この度の編集につきましては会議の内容を変えるような編集ではなく不要な間をカットするだけとか見やすいための方向で取り組んでまいります。「いつもの議会運営」になるべく違和感を持たれぬよう努力してまいります。

**Q** 議会に興味がありません！

**A** これから興味を持っていただくよう努力いたします。

**Q** 傍聴したいけど時間がない年配だから…。自主放送ならだれでも視聴できるのではないのでしょうか？

**A** おっしゃるとおりです。大変長らくお待たせいたしまして申し訳ございません。

**Q** 町のチェック機関である議会の様子を視ることは、住民の関心を得るのに必要。むしろ遅い対応である。

**A** おっしゃるとおりです。大変長らくお待たせいたしまして申し訳ございません。

**Q** DX推進を示している中で早急に対応すべきである。また議会に連絡しようとしたらメールアドレスがなかった。

**A** 只今放送に向けて準備しておりますのでもう少しお待ちください。連絡手段においても工夫検討します。

**Q** 特に一般質問は放送してほしい。

**A** そのような声が多く、この度は試験的に一般質問から行ってまいります。

**Q** 議員としての仕事ぶりをアピールできる良い機会。また傍聴した際には緊張感のない会議で傍聴への制限が多く再度傍聴への意欲が無くなった。

**A** 申し訳ございません。今後は不自由な点を減らすために努力してまいります。

今後も議会活動に活かす為、アンケートを実施していきます。  
ご協力よろしく願いいたします。

# 議会活動 (1月15日～4月15日)

1月22日	日之影町駅伝競走大会	7日	第1回定例会(一般質問)
23日	第1回臨時会	"	全員協議会
"	議会運営委員会・全員協議会	"	議会報編集委員会
23日	要望書提出(見立地区ポルダリング支援会)	9日	予算審査特別委員会
27日	時局講演会(高鍋町)	10日	予算審査特別委員会
2月3日	宮崎県町村議会議長会役員会(宮崎市)	"	全員協議会
5日	町民のつどい	14日	予算審査特別委員会
6日	のべおか林業シンポジウム	"	議会運営委員会
8日	議会運営委員会	16日	日之影中学校卒業式
"	総務文教常任委員会所管事務調査	"	日之影中学校卒業式
"	経済建設常任委員会所管事務調査	17日	第1回定例会(閉会)
"	林活研究委員会(宮崎市)	"	全員協議会
9日	西臼杵郡議会議長会要望活動(福岡市)	20日	公立病院の広域医療等に関する特別委員会
10日	第2回臨時会	"	議会運営委員会・全員協議会
15日	全員協議会	"	県道宇納間日之影線・宇目日之影線要望活動
"	中央道特別委員会協議	"	(宮崎市)
16日	高千穂高校魅力向上推進委員会	22日	日之影町高齢者大学卒業式
"	宮崎県町村議会議長会定期総会(宮崎市)	23日	町内小学校卒業式
17日	宮崎県市町村総合事務組合定期総会	"	西臼杵郡議会議長会定例会
20日	議会運営委員会・全員協議会	24日	第3回臨時会
"	県北部広域行政事務組合議会	"	全員協議会
21日	日之影町認定農業者研修会	"	議会報編集委員会
24日	議会運営委員会・全員協議会	25日	延岡市政90周年記念式典(延岡市)
28日	第20回九州中央自動車道路建設促進大会	28日	西臼杵広域行政事務組合議会(高千穂町)
3月1日	第1回定例会(開会)	4月7日	ゼロカーボンシティ推進に関する包括的連携
"	議会運営委員会・全員協議会	6日	協定締結式
3日	第1回定例会(総括質疑)	9日	行政視察(熊本県)
"	町道認定現地調査	11日	丹助岳山開き
6日	要望書提出(高千穂地区農業協同組合)	12日	日之影中学校入学式
			町内小学校入学式

## 編集後記

桜も散り山や里では新緑の季節。本格的な春が訪れ別れの季節から新たな出会いの季節へと移り変わってきたころ、いかがお過ごしでしょうか。この度の本会議では一年の計。新年度予算が可決され新たな年に向かって行政が動き出します。議会といたしましても皆で決めた当初予算をしつかりと、チェックする事で皆様の暮らしがより良いものになるよう努めてまいります。

また、この度は議会傍聴アンケートを通して皆様の幅広い意見を知ることが出来、コロナ禍で疎遠だった議会と皆様の距離が少し狭まった気がいたします。ぜひこれからも意見を取り入れていこうと思っております。TV放送の準備は着々と進んでおりますのでもう少しばらくお待ちください。

久保優一

### 発行責任者

議長 高館 英嗣

### 議会報編集委員

委員長 久保 優一

副委員長 一水 輝明

委員 甲斐 徳仁

委員 高館 英嗣